

市民参加型の環境行政で、 誰もが「住み続けたい」と思えるまちに



私どもの八千代市は、緑にあふれた街です。市の北半分には下総台地の緑豊かな自然があり、南側は、そうした緑の景観に配慮して森を残しながら、自然環境に恵まれた市街地を形づくっています。一方で、首都30キロ圏内という利便性から、首都圏のベッドタウンとして急激に発展してきました。

八千代市の自然豊かな環境の中で育った市民の皆様は、身の回りに自然があることが当たり前のことであると思われ、過ごしてきたわけですが、今、この貴重な自然が失われつつあります。八千代市の豊かな自然を次世代に引き継ぐために、市長として環境保全計画を基本に据えて、さまざまな環境保全施策を検討、推進しているところです。

さらに、市としてエコアクション21の認証を取得することで、市民や事業者の方々にも広くエコアクション21の考え方を理解いただき、八千代市がめざす環境共生都市の実現に向けた自主的なご協力をお願いしています。

千葉県八千代市長 秋葉 就一

バランスの取れた環境共生都市をめざしていると伺いました

八千代市は南に都市部と北に里山を保持する、生活環境のバランスに大変恵まれたところです。このバランスを維持・継承していくことが、八千代市の特性を考えた環境への取り組みの基本と考えています。かけがえのない谷津・里山の多面的な環境機能を持続的に保全・再生して次世代に引き継ぐことにより、都市と農村が共生し交流する八千代市らしいまちづくりをめざします。

市自らがエコアクション21の認証を取得されていますね

地球温暖化は、文字どおり地球規模の問題とされていますが、グローバルな対応だけすればいいというわけではありません。この八千代市に暮らす市民の皆様、また企業活動をされている事業者の方々にとって日々の問題であり、将来の問題です。次世代に向けた環境保全の大切さを認識していただくためにも市が率先垂範、全員参加型であるエコアクション21を進めていくべきだと考えています。さらにそれが、市内事業者のエコアクション21認証取得につながってくれるとうれしいです。

取得のきっかけは市民との輪の中から生まれたとか？

外部機関として「環境保全計画推進会議」があります。企業関係者や学識者、市民など、さまざまな立場の方が集まって、八千代市の環境行政に対して自由に意見を交換できる場になっています。ここで提案を受けたことがきっかけで、市としてエコアクション21の認証取得につながりました。地域に根ざしたエコアクション21にふさわしいきっかけではなかったかと思えます。

エコアクション21のメリットを実感されていると聞きました

事務局となっている環境保全課の環境政策室からは、エコアクション21の審査人制度に助けられていると聞いています。多角的なアドバイスをいただきながら、これまで「電子入札」や「カードによる口座振替」などを実践してきました。今後、各部署では、業務に関連した環境活動を進めていかなければなりません。これからも審査人の方と協力しながら、新しい環境活動を推進していきたいと考えています。

八千代市のあらし

面積：51.39 平方キロメートル(東西 8.1km、南北 10.2km)
人口：194,267 人(男 96,198 人、女 98,069 人) 世帯：83,355 世帯 (平成 27 年 2 月末日現在)
特産品：なし、にんじん、ほうれんそう、特別純米酒「八千代桜」など
EA21 認証・登録番号：0003458
(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0003458.pdf> をご覧ください)



エコアクション21を活かした取り組み

市民や地域企業を巻き込んで里山を保全

英国発祥の「グラウンドワーク」を手本にした「ほたるの里づくり」では、市民や地元企業など地域の関係者がパートナーシップを取りながら、自然環境の保護をめざして活動しています。「谷津・里山保全計画」も同じように、自治体だけではなく協働で整備・保全を進める、地域の自然を地域で守ろうという八千代市ならではの環境活動になっています。



谷津・里山の風景

「市民・事業者とともに実践する」環境活動

環境保全計画の基本方針に「市民・事業者とともに実践する」を追加したことで、環境活動を推進する過程で、エコアクション21の啓発を図っています。

エコアクション21で
頑張ってます

市民に対するリサイクルの推進

紙やペットボトルをはじめとした再資源可能廃棄物を、平成10年度から「1回/週」の頻度でリサイクル回収(逐次拡大)。さらに、民間の協力を得ながら、市内指定場所に廃食油を持ち寄ってもらい、燃料化するという試みも始めて、市民のリサイクル意識を高める努力をしています。

エコアクション21の普及を進めていく中で、「八千代市らしく」を忘れず、市民参加・全員参加の環境保全に取り組んでいます。

エコアクション21を広めるために

「啓発」と「推進」の両輪で、エコアクション21の普及をめざしています。

- これからエコアクション21を取得しようと考えている事業者には

エコアクション21普及セミナー「八千代塾」を通じた啓発

八千代市としてエコアクション21を取得した経緯をお話することで、環境マネジメントやエコアクション21への理解と認識を深めてもらいます。

- すでにエコアクション21を取得されている事業者には

資金融資額の増額を通じた推進

商工課と連携、エコアクション21等の環境マネジメントシステムを取得した企業に対して新たに「環境経営応援資金」を創設、市内取扱い金融機関を通じ、融資申込可能枠の拡大などの取り組みを始めています。

成果とこれからの取り組み

子どもたちに環境の心が芽生えました

市がエコアクション21を取得していることで、市立学校での「化学薬品」の取り扱いや適正な管理方法を周知・徹底しています。そうした環境活動がきっかけとなって「環境」の目線が生まれ、「子どもサミット」で環境がテーマとして採り上げられたり、環境への意識が深まっています。

業務に関連した環境活動

自治体の特性として、どうしても環境活動が「エコオフィス化」に偏る傾向があります。地域事務局や審査人の方にご協力いただきながら、できれば業務改善に絡めた施策を見つけ出して、両輪がしっかりと機能した環境活動をめざしていきたいと考えています。